

# 弘前大学

## キャンパスマスタープラン

### 〈〈基本方針〉〉



# 1. キャンパスマスタープランの目的と役割

## 1. 目的

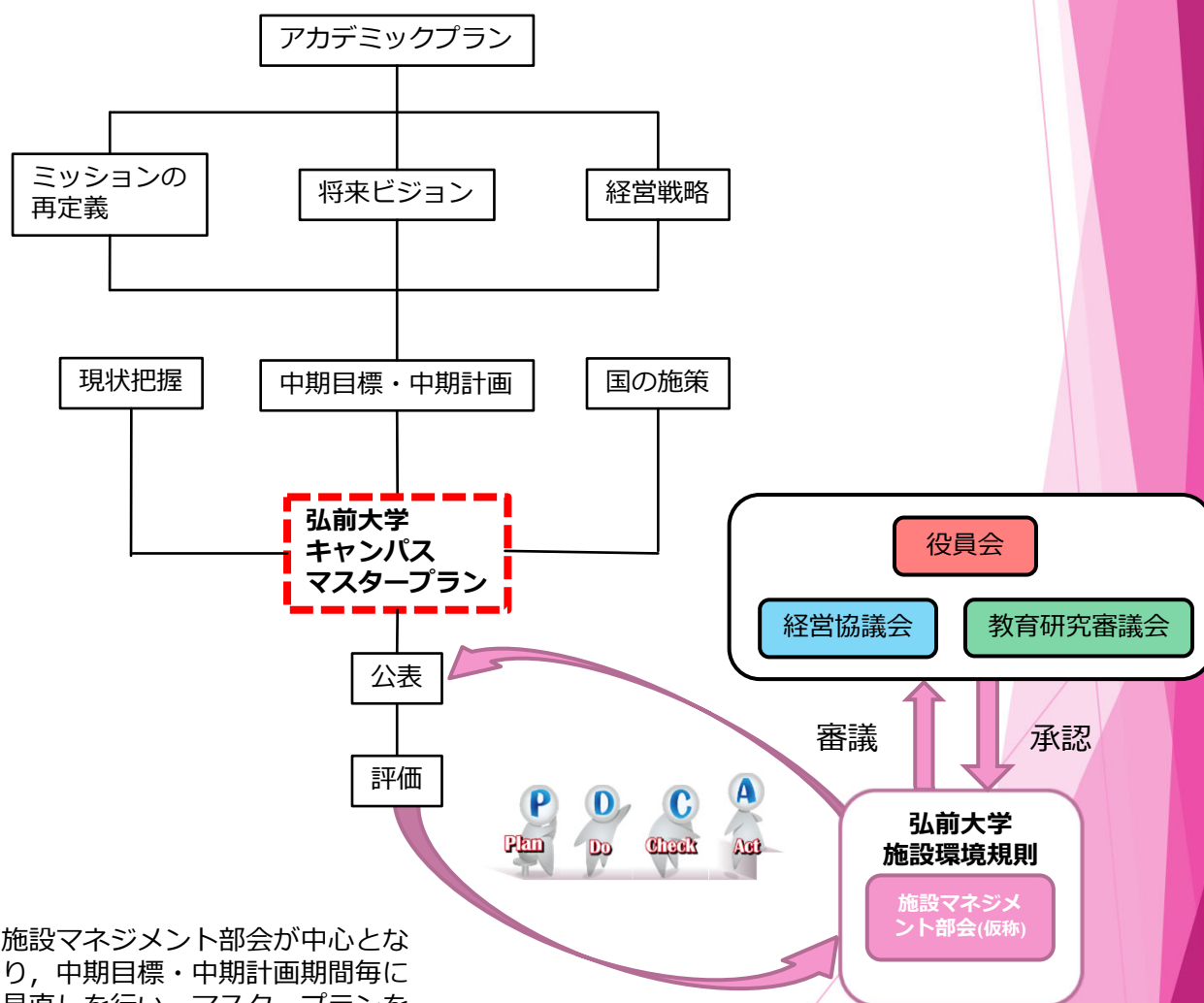
弘前大学キャンパスマスタープラン（以下「本マスタープラン」という。）は、本学のアカデミックプラン、経営戦略などを基本に、施設整備・活用方針、キャンパスの基本構想及び整備・維持計画を定め、キャンパスの特色と魅力のさらなる向上を目的とする。

## 2. 役割

本マスタープランの役割は次のとおりとする。

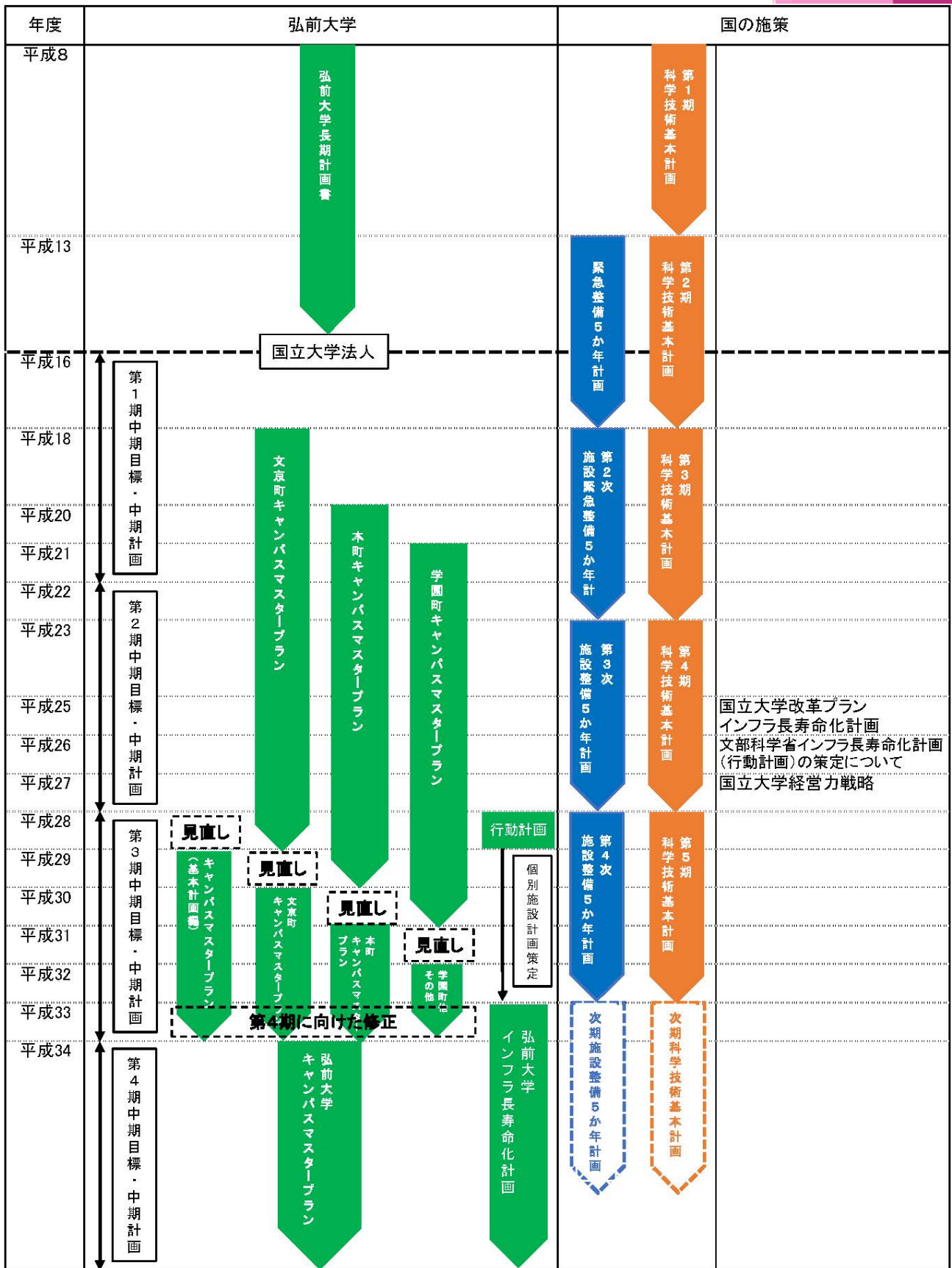
- ① 学長のリーダーシップのもと、キャンパス整備計画の基本方針を示すこと。
- ② 本学のキャンパスの将来像について、学内外の関係者が共通認識を持てる。
- ③ 大学の戦略構想、国策、中期目標・中期計画と施設整備計画の関係性が共通認識できる。
- ④ 施設整備と整合性のとれた中長期的なインフラの長寿命化及び修繕、維持管理計画が立案できる。

## 3. 構成



施設マネジメント部会が中心となり、中期目標・中期計画期間毎に見直しを行い、マスタープランを修正する。

## 2. キャンパスマスタープランの沿革及び行動計画



第3期中期目標・中期計画中に各キャンパス毎のキャンパスプランの見直し及び作成を行っていき、第4期中期目標・中期計画からは、弘前大学キャンパスマスタープランとして推進していく。

# 3. キャンパスマスタープランの基本方針

## 基本方針

本学は、西に“津軽富士”こと岩木山，東に八甲田連峰，北には津軽平野と自然に恵まれた環境のなか，教育研究環境の強化，地域に開かれた空間づくりなど，スローガンである”世界に発信し、地域と共に創造する大学”を目指すため，3つの目標を基本方針とし計画的なキャンパスづくりを推進します。

- 大学機能強化及び教育研究環境の変化へ対応するキャンパス
- 地域と連携し，安心・安全なグローバルキャンパス
- 持続的発展可能なサステイナブルキャンパス

## 整備方針

- 教育研究の基盤強化  
1994年より耐震強化・機能強化を随時行ってきたが，まだ，改修整備が終わっていないものや，改修後20年以上経過している建築物もあり，老朽化や現状の使用にマッチングしていない状況が発生している。  
施設点検評価を行い，年次計画での大型改修，改築計画を作成する。
- 産学官財連携の強化  
地方公共団体，民間企業，銀行等との連携強化がスムーズに行える拠点の整備を行う。
- 地域への開放へのパブリックスペース化  
狭隘な敷地を効率的に活用するため，目的に合ったゾーン分け，動線を整理すると共に，計画的な環境整備によるパブリックスペースの確保，また地域の避難場所の指定も受けているため，災害にも強いキャンパスを目指す。
- 国際交流の拠点  
学び，地域との国際交流の場として，留学生・外国人研究者受け入れ体制の整備，地域との交流の場の整備を行う。
- 長期的な活動へ安心・安全・の確保  
弘前大学インフラ長寿命化計画をもとに，教育，研究，学生生活がおくれるよう，長期かつ継続的に見える設備更新・ライフラインの整備計画を作成するとともに，高効率機器へ更新を図り，省エネルギーを推進する。

## 活用方針

- 施設の有効活用  
施設の使用形態にあった整備及び共有化によるスペースの再配分，また，学外施設利用の検討を推進していく。
- 土地の有効活用  
キャンパスにあった植栽計画，地域・学生・教職員及び地域の憩いの場として活用出来る空間整備を年次計画で整備，空間を継続できるような維持管理，将来的なゾーニングを計画し，土地の有効活用を推進していく。

## 4. 実現に向けた取組

### 取組事項

- ゾーニング計画  
本学全キャンパスを“1つのキャンパス”と考え、各キャンパス毎に教育研究、課外活動、産学官財連携、情報発信等のゾーニング計画を作成する。
- パブリックスペース計画  
雪国という地性を鑑み、四季に対応した学生、教職員、地域の憩いの場、災害に強いスペース計画を作成する。
- 動線計画  
人、車、自転車、緊急車両等、通常時・緊急時に関係なく、わかりやすく、動きやすい動線計画を作成する。
- 施設整備計画  
施設整備計画を、短期的計画、長期的計画で作成し、計画的な施設整備及び環境整備を行っていく。
- 維持管理計画  
弘前大学インフラ長寿命化計画、メンテナンス計画及び植栽計画をもとに年度毎の費用の平準化を図れる計画を作成する。
- 施設修繕計画  
毎年、各部局へ施設整備に係わる要望調査を実施し、施設環境部職員、建物使用者と共同で要望事項の現地調査を行い、法的な改善事項、緊急度、劣化度の点検・評価を行い修繕計画を作成する。
- 省エネルギー計画  
環境負荷の低減のため建物の断熱強化や省エネルギー設備・機器の導入を図る。
- 資金計画  
計画的な施設整備のため、施設整備費補助金事業、施設費交付事業、附属病院等貸付事業等の資金の取得に努め、学内経費の有効活用、民間資金導入の優先的検討など、施設の特性に沿った計画の立案をする。

### 施設環境部の役割

本学は、全学の建築物の維持管理・修繕・施設整備、及び既設施設の有効活用等の計画・管理を施設環境部で一元管理化しており、施設マネジメントのさらなる推進につとめる。